

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名 誰もが安心して暮らし続けられる地域共生社会を実現したい	自治体名 長浜市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	高齢者の孤独死を減らすために		

(注1)地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2)アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	関田		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	ドロップダウン選択→	アイテムを選択してください。
チームメンバー数(公開)	3 名		
代表者情報	坂口結衣		
メンバー(公開)	福井千紘、設楽彩乃		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名(メンバー一覧ページを参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OK なら右欄の○を選択 →

OK

＜チームメンバー名簿:メンバー一覧ページ＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動（サービス）を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でワクワクするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

高齢者の孤独死を減らす

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみる）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

一人暮らしをしている高齢者の方々の孤独感を減らすために、同世代の人を集めて共同生活をする。

今まで暮らしていた地域から離れたくないと思う高齢者の方は多いので同じ市内で見つけるなど地域を絞る。

全ての高齢者の方を対象にするのではなく、介護施設に入る必要のない人、要介護度の低い人を対象にしたシェアハウス作る。

シェアハウスで一緒に住む人は、男女や人数問わず相性の良い人をマッチングして決める。（気疲れしてしまわないように人数は多くても5・6人にする）

一緒に生活している人と家事をしたり、話したり、体を動かしたりして今まで通り健康に生活をしていけるようにする。

また、1人1人の時間も大切にするために、寝室などの小さな部屋を用意する。

高齢者の方だけでは難しいこともあるので時々福祉の資格を持っている福祉の関係者や若者が訪問して、高齢者の方がより安心して生活できる環境を整える。

--

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

<参考：以下のように理由を書いていきます>

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

身近のに住んでいる一人暮らしのお婆さんたちが、1人で生活するのは寂しいけど施設に抵抗があると話していたことをきっかけにこの案を考えた。

2つの介護施設に行って高齢者の方と働いている職員の方にインタビューを行った。

介護施設にあまり良い印象を抱いていない人が多くて、入居を拒んでしまう方が多いという現状と、介護施設では自分と異なる性格の人と生活していかなければならないので、人間関係が難しいや、施設には制約がたくさんあり、入居することで諦めなければならないことがたくさんあってしんどい思いをしているという利用者の方の声を聞いた。

しかし、複数人で過ごしている時か、1人でいる時かどちらが良いかのインタビューをすると、全員みんなで過ごす方が良いと仰っていた。その理由は、他の人がいてくれると思うだけで安心するや、いろんな人と関わることは大切だし嬉しいという理由があった。

この2つの点から、施設ではなく誰かと共に生活できる場を設けたいと思い、シェアハウスという案を考えた。

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1.この案は市の福祉担当の方が主導で実現させていく。
実現するために、高齢者の方が暮らしやすい一階建てのアパートのようにたくさん部屋のある建物を建設する。

その施設の宣伝の方法は、施設をオープンさせる前に地域の方を対象としているため、地域の方に見学に来てもらったり、チラシを配ったりする。

介護の関係のことなので、ケアマネジャーという高齢者と施設を繋ぐ専門家がいるので、その方から高齢者に紹介してもらおう。

2.ヒト:建設業者、運営者、管理者、ケアマネジャー
運営費、管理者は税金から賄う。ケアマネジャーは雇用

モノ:シェアハウス、生活に必要な家具

シェアハウスは一階建て、部屋を 15 個

カネ:建設費、運営費、維持費、人件費

建設費はクラウドファンディング、運営費は税金から賄う、維持費、人件費は利用者負担

3.クラウドファンディングを行う 3000 万→宣伝→建物を建てる→マッチングアプリを作る→募集→入居

入居者から月 5 万もらう

クラウドファンディングは寄付型と株式型で集める

利用者の方のご家族に株を買ってもらう

